

## 全校生徒が1人1台タブレットを所持するICT教育を実践 2月10日（金）千葉大学教育学部附属中学校の公開研究会 ～「1人1台タブレット端末の教育的効果と運用上の課題」～

千葉大学教育学部附属中学校は、本年度より全校生徒が1人1台タブレット端末を所有し、授業で活用するICT教育を実践しています。その教育的効果と運用上の課題に関して、2月10日（金）に県内外の学校教員や教育関係者を招いたICT授業研究会を開催いたします。

### ■千葉大学教育学部附属中学校のICT教育の取り組み

2014年度の新入生からタブレット端末を保護者負担で1人1台購入することとしたほか、全普通教室に電子黒板機能内蔵のプロジェクターと80インチのマグネットスクリーンを設置しました。また、1学年フロアで無線LANを整備。2014年10月から1学年において1人1台のタブレット端末を活用した教育を開始。2015年度には生徒棟のすべて（全学年のフロア及び全特別教室）で無線LANを導入しました。**2016年度の新入生が端末を購入したことで、「全校生徒の1人1台タブレット端末活用」が実現しました。**なお、このように自治体に頼らず、学校全体で1人1台タブレット端末を所有している学校は県内でも他になく、画期的な取り組みといえます。



昨年度の様子

### ■平成28年度ICT授業研究会について

**研究主題：「1人1台タブレット端末の教育的効果と運用上の課題」  
（3年研究最終年次）**

今回の研究会では教員や学校関係者を集めて、実際の授業を見ていただきながら「効果と課題」について考えていただくことで、今後のICT教育の発展に寄与できればと思っています。

**日時：平成29年2月10日（金）※取材のお申込は前日まで**

**場所：千葉大学教育学部附属中学校（西千葉キャンパス内）**

**参加者：小学校、中学校、高等学校などの学校教育関係者（来場予定者数：250名）**



昨年度の様子

13:10～	受付
13:40～14:30	<b>公開授業</b> 1年A組・数学「多角形を斜めの方向に平行に動かしてできる立体について考えよう」 1年B組・学活「みんなで作る「1Bのハローワーク」」 1年C組・理科「物質の状態変化」 1年D組・社会（地理）「世界の諸地域～アフリカ州～」 2年A組・英語「「ビッグデータ」を集めて調査結果を発表しよう」 2年B組・国語「メディアを読み解く～動画ニュースを分析し、論理的・批判的思考力を高める～」 2年C組・保健体育「柔道～現代版問答で学ぶ～」 2年D組・社会（歴史）「発禁本で考える江戸時代～文化史から時代的特色に迫る～」
14:45～15:45	<b>教科等分科会</b> （教科別に教員が分かれてICT教育等について話し合う）
16:00～16:45	<b>全体会</b> 「1人1台タブレット端末の教育的効果と運用上の課題」（発表者：副校長三宅健次）

※公開授業・教科等分科会・全体会、すべてご取材いただけます。副校長(三宅健次)へのインタビュー取材も可能です。公開授業の撮影の際は、生徒の顔が写り込まないようにご配慮願います。

取材のお申込み・本件に関するお問い合わせ  
 千葉大学教育学部附属中学校 副校長：三宅健次  
 TEL:043(290)2493 メール：miyaken@faculty.chiba-u.jp